

ケント州立大学 8月

生物資源科学部環境共生科学科 西村 椋平

ケント州立大学は、オハイオ州にある自然豊かな場所です。日本でいう北海道のような景色が広がっており、気候は夏は涼しく冬はとてつもなく寒い（らしい）です。現在、留学が開始して2週間ほどが経過しました。短期間ではありますが、初めてのアメリカで感じたことを紹介したいと思います。

1、楽しかったこと

この時期は秋学期が始まる直前なので、イベントが毎日のように開催させてます。ナイトパーティーや、オリエンテーション、映画鑑賞など、たくさんのプログラムが組まれています。どれも日本では体験したことのない雰囲気なので、ずっとワクワクとソワソワが混じった感情で参加していました。

また、それらのイベントで知り合った留学生の友達とも、頻繁に遊びました。学生が自由に使えるスポーツセンターでバドミントンをしたり、食堂でご飯を食べたり、ちょっとした繁華街に遊びに行ったり。信号機のシステムが少し日本と違ったり、日本では普段出てこない食事を食べられたり、逆に日本と同じ部分があったりと、ささいなことでも毎回感動しながら過ごしていました。留学生の友達のバックグラウンドを知ることも楽しかったです。

2、悔しかったこと

友達と一緒にいると、当然、会話は英語なのですが、ビックリするくらい聞き取れなくて、自分の英語もほぼ通じません。多くの国々から来ているので、それぞれの英語のアクセントがあり、超絶丁寧な英語ですら、あまり理解できていない自分にとっては、「これ英語なの？」と覚えることが多々ありました。体感ですが、4%くらいしか理解していません。英語の「音」の重要性を強く感じ、これまでその勉強を怠っていたので、後悔しました。

ですが、これが現実なのでなんとかしがみついていると、1週間前と比べて、もう2%ほど聞き取れるようになりました。3ヶ月後が楽しみです。

3、行く前と現在の心情の変化

留学に行く1週間前は、アメリカという異世界の場所に飛び込むことが本当に怖くて、正直、出発日を先延ばしにしたいくらい億劫になっていました。ですが、到着1週間目にして友達ができ、大学の環境に慣れ、2週間目からは、海外にいることを忘れてしまうくらい、良い意味での日常生活を送れています。また、こんなにも簡単に友達が出来るとは想像していませんでした。学生や先生は予想以上に優しく、多少の英語力（留学要件）さえあれば、苦労はしますが、なんとかなることが分かりました。

4、気をつけるべきこと

この大学に着くまでに、一度、ニューヨークにある巨大な空港で飛行機の乗り換えをしました。その時に、ターミナルを移動する必要があるのですが、空港員のような人にタクシーの利用を促され、10分のドライブで99ドルと10ドルのチップを払わされました。アメリカに着いた30分後に詐欺に遭いました。

私の場合はまだ授業が始まっていないので、このような良いことばかりの内容になりましたが、これからは授業と課題に追われる日々が始まりそうです。気を引き締めて頑張ります。

